

報 告 書

2021年 7月18日

活動実施団体名
岩手県立博物館
責任者名
館長 高橋廣至
報告書作成者名
専門学芸員 望月貴史

1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

岩手県立博物館第81回地質観察会「1億年前のサンゴ礁の海を見てみよう」

2. 実施日

令和3年6月26日 (土)

3. 実施場所

岩手県田野畑村平井賀周辺地域

4. プログラム等

- 10:00 田野畑村教育委員会集合 開会行事
- 10:20 平井賀漁港で宮古層群田野畑層の観察
羅賀ふれあい公園で津波石の観察
- 12:10 羅賀地区コミュニティセンターで昼食
- 13:30 ハイペ海岸で宮古層群羅賀層・田野畑層・平井賀層の観察
- 15:00 閉会行事・各自解散

5. 対象・参加人数 (内訳)

小学校高学年以上の一般対象

参加者38名

(小中学生2名、高校生1名、成人35名 (三陸ジオパーク認定ガイド13名を含む))

6. 活動の内容・状況・感想 (参加者並びに主催者)

田野畑村平井賀周辺地域に分布する白亜系宮古層群の露頭とそこから産出する化石の観察を行った。また、同地域には2011年の東北地方太平洋沖地震とそれに伴って海側から運ばれてきた津波石と呼ばれる巨大な岩塊も存在し、これらについても観察を行った。なお、本観察会では長年にわたって宮古層群の古生物学研究をしてこられた名古屋大学博物館教授の大路樹生氏に講師を務めていただいた。

国立公園での観察会につき岩石や化石の採集は行わず、露頭の観察と講師の解説

のみによる観察会となったが、参加者はみなとても興味深く解説を聞いており、観察ポイントごとに活発な質問や議論が展開されていた。また津波石においては、重さ20トンにもなる巨大な岩塊が海から400メートル近く運ばれてきたことが実感でき、改めて津波の威力の大きさを感ずることができたようであった。

以下に参加者アンケートから抜粋した感想の一部を記述する。

「現地で見ながら先生の話しが聞けるのは大変勉強になりました。」「子供と参加していますが、毎度親切にさせていただいてます。内容もとても面白いです。」「本で読むより実際に歩いて、見て、他の人達と一緒に会話しながら楽しい이었습니다。」「地質や化石に関して、知識を得る事が出来た。津波石により、震災との関連を知る事が出来た。」「学校で地学を教えているのですが、専門ではないのでこのような研修会があればさらに参加したいくらいになりました。」「質問に答えていただき、大変うれしかった。（同様の感想多数）」

主催者の感想としては、特に地層や津波石のように博物館で展示することが難しいものについては、現地で実物を見るという体験に加えて、言葉による説明や質疑応答とセットにすることで本質的な理解につながるということが実感できた。今回は参加者に三陸ジオパーク認定ガイド13名を含めての実施となったが、本観察会で得た知識や観察眼、解説のスキル等のさまざまな経験を三陸ジオパークの活動に還元していただき、将来的により多くの方に三陸の魅力を伝えられたら主催者としては幸いである。

7. 写真



開会行事の様子



平井賀漁港での地層観察



津波石を全員で観察



ハイペ海岸で大路氏より地層の解説